



Komaki

小牧市まちづくり推進計画 第1次基本計画

概要版

市長挨拶

本格的な超高齢・人口減少社会の到来、グローバル化や高度情報化の急速な進展など激動の時代を迎え、本市においても、次代を切り拓く新たな挑戦が求められています。

そこで、「改革と創造の市政」の目指す成果と方策を明らかにするため、平成26年3月に市政の最上位計画である「第6次小牧市総合計画」の中間見直しに合わせ、「新基本計画」を策定しました。「新基本計画」では、市政の軸となる考え方や戦略を示し、限りある行政の経営資源を各施策により無駄なく最適に配分することで、戦略的かつ効果的、効率的で持続性の高い自治体経営の実現を図ってきました。

「小牧市まちづくり推進計画 第1次基本計画」は、これまでの「新基本計画」の考え方を引き継ぎ、発展させたものであり、平成27年3月に制定した「小牧市自治基本条例」に基づく初めての基本計画です。

この計画は、小牧市民憲章に掲げる理想のまちを実現するため、3つの「都市ヴィジョン」をまちづくりの機軸として、戦略と重点事業を示した「市政戦略編」、計画的な基本施策を示した「分野別計画編」、持続可能な自治体経営のための施策を示した「自治体経営編」で構成し、さらに「誰一人取り残さない」多様性と包摂性のある社会の実現を目指す「SDGs」や多様性を生かす「ダイバーシティ」の理念を踏まえた、持続可能な地域社会の実現を目指す計画としています。

今後はこの新しい基本計画のもと、「活力ある高齢社会（小牧モデル）」の創造と「若年世代・子育て世代の定住促進」を図り、子どもから高齢者まで誰もが住みたい、住み続けたい、「安全・安心で、持続可能な、将来にわたって輝き続ける、魅力と活力あふれる夢ある小牧市」の実現に取り組んでまいります。

結びに、本計画の策定にあたってご尽力を賜りました小牧市まちづくり推進計画審議会委員の皆様、市議会議員の皆様をはじめ、貴重なご意見、ご提言をいただきました市民の皆様に深く感謝を申し上げます。

令和2年3月

小牧市長 山下 史守朗



まちづくり推進計画の概要

1 まちづくり推進計画の計画期間

令和元（2019）年度～令和8（2026）年度を計画期間とし、4年で見直すこととします。

2 まちづくり推進計画の構成と特色

【第I章】都市ヴィジョン

今後のまちづくりの指針・羅針盤とするために、長期的展望に立ち、市としてまちづくりを進めていく上での機軸となる考え方を、「都市ヴィジョン」として示しています。

【第II章】市政戦略編

3つの都市ヴィジョンを機軸に、市長の強いリーダーシップと責任のもと、優先的に経営資源を投入し、強力に推し進めていくための事業群であり、どのような考え方あるいは方策に基づき実現していくのかを示した「戦略」と、戦略の具体的な実行手段の核となる「重点事業」を示しています。

【第III章】分野別計画編

6の行政分野及びその配下に位置づけられる30の基本施策ごとに、今後、施策の推進によって実現を目指す目的やその達成に向けた手段（施策の展開方向）などを体系的に示しています。

【第IV章】自治体経営編

各取組みを通じて効果的・効率的な施策推進の視点と行政改革の視点の整合を図り、将来にわたり持続可能な自治体経営を計画的に推進しようとするものです。

【第V章】計画の推進方策

「まちづくり推進計画」を起点とするPDCAサイクルによる計画の推進にあたっては、現状と目標との乖離状況を定期的に把握し、その要因分析を実施することで、計画の進行管理と必要な改革・改善を継続的に実践できるようにします。

都市ヴィジョン（第I章）

- 1 子ども夢・チャレンジNo.1都市
- 2 健康・支え合い循環都市
- 3 魅力・活力創造都市

市政戦略編（第II章）

分野別計画編（第III章）

自治体経営編（第IV章）

計画の推進方策（第V章）